

「月岡温泉」

エメラルドグリーンが 印象的な美人の湯・美肌の湯

後藤 康彰

日本健康開発財団 温泉医科学研究所主席研究員

【ごとう やすあき】加齢を制御する生活行動として「日本の入浴・温泉」に着目。「温泉地滞在が心身に与える影響」等の研究を実施している。温泉と食べることに目がなく、年間50箇所ほどの湯をめぐる。

「硫黄泉」と聞くと、ゆで卵のような匂いとふわふわと湯の花が浮かぶ白濁した温泉を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。

今回ご紹介する月岡温泉（新潟県）も、温泉街が近くと独特の匂いにわくわくと期待が高まりますが、いざ温泉と対面すると、湯の色は鮮やかなエメラルドグリーン。

「え？」と首をかしげる方も少なくありませんが、日本有数の硫黄含有力を誇る硫黄泉なのです。「硫黄泉」には、酸性を示すことが多い「硫化水素型」（白濁色であることが多い）とアルカリ性を示すことが多い「硫黄型」があり、月岡温泉は後者に当たります。

泉質は、「含硫黄—ナトリウム—塩化物泉」（弱アルカリ性低張性高温泉）。2014年に開湯100年を迎えましたが、「美人の湯」「美肌の湯」として人気を集めています。

美人・美肌のその訳は？

私たちの研究所では、月岡温泉から依頼を受けて、その入浴効果を「さら湯（水道水のお湯）」と比較検討したことがあります。20名の女性を対象とした実験の結果、月岡温泉では「つつる感」「しっとり感」が得られ、「からだの芯からあたたまる」「あたたまり感が持続する」ことが示されました。

これは、硫黄泉の特質である角質の柔軟化、またア



美人の湯、美肌の湯として
若い女性にも人気



ルカリ性の特質であるタンパクや皮脂を緩やかに溶かすことによる

「清浄作用」、豊富な硫黄が皮膚から浸透して血管を拡張させる「温熱作用」、塩化物成分が浴後に皮膚をコーティングする「保湿作用」などによりもたらされたと考えられます。硫黄にはメラニンを抑制することも知られていますから、継続的な利用では美白効果も期待できるかもしれません。

全国の「美人の湯」「美肌の湯」と呼ばれるものにはさまざまなタイプがありますから、出かける前に泉質や成分を調べておくのも良いでしょう。

「からだの内からも外からも」きれいを目指そう

新潟といえば米どころ、酒どころ。温泉街の飲食店では、新潟産コシヒカリと越後食材をカップリングしたお店自慢の「ライスボウル」が味わえます。

注目のスポットは、開湯100年にあわせて新設された、「旨（UMAMI）」と「蔵（KURA）」。越後の滋味を集めた「旨（UMAMI）」には、お店に熱々のご飯が用意されていて、干物や乾物、ふりかけ、お漬物、お味噌を無料で試食いただけます（ご飯はお茶碗1杯まで）。

「蔵KURA」には、新潟の全酒造の地酒がそろっていて、500円でお猪口3杯試飲できますよ。近年脚光を浴びる腸内環境バランス。発酵食を取ることで、「からだの内からもきれいを目指す」のも月岡流の楽しみ方の1つになりそうです。



注目のスポット
「蔵（KURA）」と「旨（UMAMI）」



しっとりした雲霧気の温泉街

